



広報

とくしま

トピックス

新春対談 (2・3面)

- インフォメーション (4面)
- おしらせ、イベント情報など

令和2年12月1日現在(前月比) 人口/252,104人(-70) 男/119,843人(-20) 女/132,261人(-50) 世帯数/120,944世帯(+25) 面積/191.39km²



▲橋本聖子大臣(左)と内藤市長(右)

※写真撮影用にマスクを外しています。

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、新しい年を健やかにお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

昨年以降、新型コロナウイルス感染症という新たな国難に直面し、人々の命や生活、経済活動が大きな影響を受け、価値観や行動も変容を余儀なくされています。

感染症対策の最前線に立つ医療関係者、日常生活に不可欠な福祉や教育・社会基盤などを支えていただいている皆さまに、心から感謝と敬意を表しますとともに、引き続き、市民の皆さまの命と生活を守ることを最優先に、国や県と連携し、感染拡大の防止と社会経済活動の両立に全力で取り組んでまいります。

長年の懸案であった新ホール整備については、県市協調のもと、県都のランドマークに相応しい施設整備を加速させるとともに、県青少年センターのアミコビルへの機能移転も踏まえ、まち全体のランドビジョンを早急に策定し、新しい徳島の未来創造の歩みを着実に進めてまいります。

子育て支援では、「新たな市立教育・保育施設の再編計画」のもと、民間活力を活用し、市の持つ教育・保育資源の集約と機能強化を図るとともに、保育士確保を中心とする待機児童解消対策を推進し、持続的・安定的な教育・保育サービスの提供に努めてまいります。

また、阿波おどりにつきましても、400年の伝統の灯を絶やさぬよう、昨年11月に開催した実証イベント「阿波おどりネクストモデル」を踏まえ、感染症対策のあり方を検証し、全国のモデルとなる安全・安心なイベントとして、今夏の開催を目指してまいります。

さらに、こしは、開催が1年延期された「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が予定され、徳島ヴォルティスも7年ぶりにJ1に昇格します。こうしたイベントが、安全・安心に開催され、地域活性化につながることを大いに期待するとともに、本市のさらなる魅力発信に取り組んでまいります。

現在、本市を取り巻く環境は、人口減少や

少子高齢化、自然災害の頻発化・激甚化、新型コロナウイルス感染症による経済・財政への影響など、一段と厳しさを増しておりますが、地方創生や防災・減災対策の加速、多様性を認め合う社会づくり、デジタル化の実装など、SDGs(持続可能な開発目標)の理念に合致した新しい未来創造の礎をしっかりと築いていかななくてはなりません。

今年度中に策定する「徳島市総合計画2021」や、徹底した見直しを進めている「行財政改革プラン」のもと、持続可能な市政運営を進め、本市ならではの魅力があふれ、誰もが「このまちが好き」と感じられる わくわくするまちとなるよう、取り組んでまいりますので、引き続き、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が市民の皆さまにとりまして、輝かしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

令和3年1月1日

徳島市長 内藤 佐和子

新春対談 橋本聖子大臣と語る 誰もが輝く明るい未来を目指して



橋本聖子大臣

東京オリンピック・パラリンピック担当大臣、内閣府特命担当大臣(男女共同参画)、女性活躍担当大臣

1964年北海道生まれ。1992年冬季オリンピックアルペーンピル大会銅メダル獲得(スピードスケート)。

2021年、新しい年を迎えました。今号では、新春特別企画として、橋本聖子大臣と内藤市長の対談の様態をご紹介します。女性の活躍推進や多様性を認め合う社会、半年後に迫った東京オリンピック・パラリンピック競技大会などをテーマに、それぞれの思いを語っていただきました。

●市長 明けましておめでとうございます。今日は、よろしくをお願いします。
●大臣 こちらこそ、お願いします。

病気を乗り越えて活躍する2人

●市長 市長選挙の時から注目をさせていただいたというお話をお聞きました。

●大臣 最年少の女性市長として立候補されている方が、難病を抱えているというのを報道で知り、びっくりすると同時に、すごいと思いました。病気を乗り越えて、一生懸命、地域社会に貢献してきたことを基礎として、市長に立候補する心構えといったところに非常に共感を覚えました。

実は、私自身も難病ではないんですけど、胸の筋肉に障害を持っています。また、腎臓病を患って入院した経験もあ



▲アスリート時代の大臣

ります。私なりにそういったことを受け止めて、何とか乗り越えてアスリートとしてオリンピックにもなれましたので、とにかく内藤市長にも頑張っていたらいいなという、そういう思いで選挙戦を見させていただいていました。

●市長 ありがとうございます。

●大臣 内藤市長の当選は、女性が活躍する場を広げていく一つの大きなチャンスにつながったと思います。これから知事や市長、議員といった政治に関わる女性のつながりができていくことも期待しています。これからの課題や展望だとか、それぞれの地域の事情も含めているいろいろな話をするによって、共通する問題があれば、解決策にもつながっていくことができると思うので、そういう交流ができればいいなと思っています。

女性ももっと活躍できる環境を

●市長 日本は、ジェンダー・ギャップ指数(※1)が政治・経済の分野で低く、153カ国中121位という順位が出ています。今回の菅内閣の閣僚も女性は2名でした。女性活躍担当大臣としてどのようにお考えですか。

●大臣 全体的な女性の割合を一つ一つ高めていくということが必要だと考えています。日本の取り組みは進んできているとは思いますが、国会や地方の女性議員を増やしていくよう、各政党にもお願いしています。

昨年、女性活躍推進法が改正されましたが、本当の意味で動き出し、数に表れてくるのはこれからなのかなと思っています。しっかりと周知をし、取り組んでいきたいと考えています。

●市長 私が市長になってから、若いお母さんたちが、市議会やまちづくりにすごく興味を持ってくださるようになりました。「もしかしら私もま

ちづくりに関わっていきけるかもしれない」と思っていたようになってきたのではと感じています。子育てをしながらだと大変だという話もあるのですが、女性が活躍できる環境づくりにも取り組んでいきたいと思っています。

●大臣 「私もできる」「私もやりたい」と身近に感じてもらえるような環境をつくっていくということが、非常に重要ですね。

私事で恐縮ですが、私が妊娠した20年前は、議事を欠席する理由として「出産」が公的に認められていませんでした。それがきっかけで議論となって、参議院規則を改正していただいて、出産の時に休みをいただくことができました。

●市長 それが地方議会にも広がったのですよね。

●大臣 初めてのケースだったので、非常に肩身の狭い思いもしましたが、前例がないことでも一つ一つ突破口を切り開いていくと、みんながやりやすくなるように変わると思います。

多様性を認め合う社会へ

●市長 大臣は胸の筋肉に障害があるということですが、多様性やダイバーシティ(※2)についてのどのようなふうに思われますか。

●大臣 私はオリンピックにも出ているので、健康だと思われていますが、深呼吸ができない病気なので、トレーニングなしでは普通の生活ができません。

以前、脊髄損傷のアスリートと入院生活をすることがありました。その人たちが、障害を持ちながらもスポーツを続けることで、リハビリのような形で自分の力で生活をしている姿に、私自身の考えが変わりました。障害のある人たちが、自分が障害者だと思っていないです。普通なんですよ。

●市長 それが当たり前ですよ。

●大臣 当然、社会的弱者への公助・共助は必要ですが、その前に、やはり同じ立場で、同じ考え方で一緒に生きていくということが、まさにこれから求められていくものだろうと私は思っています。ダイバーシティを推進していくことこそが、人にも地域にも優しいまちづくりにつながっていくと私は確信しています。内藤市長にも、ぜひ、そういった取り組みをしていただきたいと思っています。

●市長 みんながそれが普通と思えるような社会、みんなが優しくできる社会の実現というのは私もすごく共感しますし、そういった気持ちで市政を推進していこうと思います。

先進技術がもたらす可能性

●市長 2020年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、Society 5.0(※3)やSDGs(※4)の推進が目玉されました。テレワークの実施やオンラインでの会議も浸透してきましたので、ワーケーション(※5)も含めて、さらに推進していきたいと考えています。

●大臣 コロナ下でテレワークを含む在宅時間が増え、ストレスや生活不安もあって、DVや性暴力、子どもに対する虐待などが増加したという報告もありました。内閣府の「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会」では、こうした問題をどのように解決していったらいいか議論しています。他方で、テレワークの推進は男性の家事や育児への参画を促すチャンスでもあったという好事例の報告もあり、こうした良い点を伸ばしつつ、顕在化した問題をしっかりと解決していかなければならないと思っています。

それともう一つ、春先から夏までは、何として

もこの感染症の拡大を抑えるために、省庁も含め、テレワークが進みましたが、最近ちょっと停滞しています。逆戻りしつつあるような状況にもなっているので、やはりもう1回見直していく必要があると思います。

●市長 地方から国への要望活動などは、オンラインを活用することもあれば、実際に向うくともあります。バランスを見極めながら取り組みを進めていきたいと思っています。

ほかにも、最近ではeスポーツが注目を集めていて、徳島県も積極的に取り組みを進めています。●大臣 eスポーツについては、ぜひ活用も含めて推奨していただきたいと思います。オリンピックやパラリンピック、アジア大会での採用についても議論されており、障害者やアスリートに非常にいい効果が表れているという話も聞きます。医学的効果については、しっかりと検証をすることが必要ですが、インクルーシブ社会(※6)を築いていくためには、非常に有効だと思っています。

東京大会に向けて

●市長 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の公式エンブレムに、藍色の組市松紋が採用されていますが、徳島は藍染めで栄えたまちなので縁を感じています。コロナの影響で2020年は延期となりましたので、今年こそはというお話を

をぜひお聞かせください。●大臣 いよいよ半年後に迫りました。昨年から、「東京オリンピック・パラリンピック競技大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議」でも議論してきましたが、選手団や観客の皆さんを安心・安全に受け入れる体制を整えていく最終段階を迎えています。

東京大会を単なるスポーツの最高峰のイベントだと捉えるのではなく、世界がコロナに打ち勝った証となる大会にするよう政府一丸となって、成功に向けて取り組んでいます。今こそ、withコロナあるいはアフターコロナを見据えて、日本の持つすべての科学技術、医療体制、そして地方の力などを含め、この東京大会を世界に発信するチャンスだと思っています。

2021年以降の日本の姿と、今後、感染症というものがやってきても、日本のみならず世界がしっかりと向き合いながら、持続可能な社会を作り上げていくことができることを確信できる大会にしたいと思っています。

●市長 徳島市では、オリンピックとパラリンピックの間となる8月12日から15日の4日間、阿波おどりが開催されます。このオリンピックの成功が、阿波おどりにつながると思っていますの



※対談はリモートで、写真撮影は別途行いました。

～用語説明～

- (※1) 世界経済フォーラムが、各国の男女間の格差を経済、教育、健康、政治の分野に分類・数値化しランク付けしたもの。
- (※2) 多様性を認め合う社会。
- (※3) IoT(さまざまなものがインターネットとつながること)やAI(人工知能)などの革新的な技術を活用することで、新しい価値やサービスが次々と創出され、人々に豊かさをもたらす社会。

- (※4) 持続可能な開発目標。貧困や環境、人権問題など、社会のさまざまな課題の解決を目指し、2030年までに達成すべき世界共通の17の目標。
- (※5) 新型コロナウイルス感染症による「新しい日常」として位置付けられる、働きながら休暇をとる過ごし方。
- (※6) 多様性を尊重し、誰一人取り残されない社会。

掲示板

INFORMATION

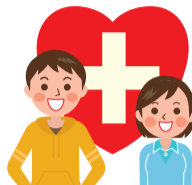
お知らせ

はたちの献血キャンペーン (2月28日まで)

【献血の実施場所】

▶ 献血ルーム アミコ(アミコビル3階) = 毎月第1・3

火曜日を除く毎日9:30~13:00、14:00~17:00(成分献血は16:00まで)※1月1日(祝)・2日(土)は休み。▶ 献血バス※日程などは徳島県赤十字血液センターHPをご覧ください。



徳島県赤十字血液センター(☎0120-688-994)、保健センター(☎656-0529 FAX656-0514)

えびす祭り特別警戒

多数の参拝客でにぎわう期間中、火災などに対する警戒体制を強化するため、対策本部の設置や通町事代主神社周辺の見回りなどの特別警戒を実施します。



1月9日(土)~11日(祝) 消防局警防課(☎656-1192 FAX656-1201)

中小企業向け無料経営相談

◆中小企業診断士による経営相談 1月8日(金)・13日(水)・21日(月)・31日(日)各日10:00~17:00 市内に主たる事務所を置く中小

企業または個人 ◆徳島県よろず支援拠点コーディネーターによる相談

1月9日(土)・16日(土)・23日(土)・30日(土)各日10:15~17:00

県内に主たる事業所を置く中小企業または個人

産業支援交流センター(アミコビル9階) 詳しくは市HPをご覧ください。



経済政策課(☎621-5225 FAX621-5196)

1月の休日窓口 (毎月第2・4日曜日)

利用可能な手続きは住民異動届、住民票の写し・戸籍謄抄本の交付、印鑑登録など。

10日(日)・24日(日)各日 8:30~12:00

市役所1階 詳しくは市HPをご覧ください。



さわやか窓口相談室(☎621-5039 FAX621-5128)

祝日のごみ収集

1月11日(月)は 平常どおり収集します

募集

市民病院看護師 (会計年度任用職員)

徳島市民病院で、看護業務、診療補助業務などに従事する会計年度任用職員(3交替勤務)を募集しています。

【任用期間】3月31日まで(更新あり)

【給与】月額22万4,643円~29万7,155円(時間外勤務手当や夜勤手当などあり)

【募集人数】10人程度

◆所定の申込書を原則郵送で、市民病院総務管理課(〒770-0812 北常三島町2-34)へ※持参も可。



詳しくは市HPをご覧ください。

市民病院総務管理課(☎622-9323 FAX622-5313)

催し

徳島城博物館イベント

◆新春かるた大会(観戦のみ)

子どもたちのかるた競技。

1月10日(日)12:50~16:30

◆新春投扇興大会

江戸時代から伝わるみやびな遊び「投扇興」を体験。

1月11日(祝)13:30~16:00(受け付けは12:00) 小学生以上 50人(先着)

◆和室展「芸術ハカセは見た！」

徳島出身の現代美術家、パルコキノシタ氏などによる現代アートの作品展。その他トークイベントなども開催。

1月14日(土)~22日(金)各日9:30~17:00(18日(月)は休み) ※トークイベントは16日(土)13:00~14:00。

◆新春弾き初め会

藤本玲徳 島箏曲スタジオや眉山の会、雅伎会などによる邦楽演奏会。



1月24日(日)13:30~16:00

入館料(大人300円、高校・大学生200円、中学生以下無料)

詳しくは市HPをご覧ください。



徳島城博物館(☎656-2525 FAX656-2466)

徳島市芸術祭「芸能祭」

民踊や人形浄瑠璃、バレエ、民謡、詩吟など。

1月11日(祝)13:00~(開場12:30) 場あわぎんホール1階ホール ¥800円

徳島市文化協会事務局(☎621-5178 FAX624-1281)

講座・教室

応急手当の実技講習

人工呼吸法や胸骨圧迫、AED(自動体外式除細動器)の取り扱いなどを習得。

1月17日(日)13:00~15:00

場東消防署(新蔵町1)

電話で消防局警防課へ

消防局警防課(☎656-1192 FAX656-1201)

リフォーム講座

不要な布を使って、マイボトルホルダーを制作。

1月21日(水)、2月25日(水)各日13:30~16:00

場アミコミーティングルーム(アミコビル2階)

徳島市・石井町・神山町・佐那河内村在住の人 各8人(先着)

準備、裁縫用具

電話で消費生活センターへ

消費生活センター(☎625-2326 FAX625-2365)

記事の訂正

広報とくしま2020年12月15日号の2面でお知らせした年末年始の業務案内のうち各施設の休みに誤りがありました。

とくしま動物園北島建設の森、徳島城博物館、旧徳島城表御殿庭園=1月4日(月) 産業支援交流センター9階=1月5日(火)は休みとなります。お詫びして訂正します。

ご意見を募集(パブリックコメント)

徳島市では、市の基本的な方針を定める計画などを策定する場合に、あらかじめ案を公表し、市民の皆さんから意見を募集しています。市は、皆さんから寄せられた意見を考慮して計画などを決定するとともに、その意見に対する考え方を市HPなどで公表します。



次の素案について、ぜひ市民の皆さんの声をお聞かせください。

◆徳島市総合計画2021「水都とくしま「新創造」プラン」(素案)

本市の将来像やその実現に向けた基本目標などを定め、市政を長期的な視点で総合的かつ計画的に推進していくための計画です。

【問い合わせ先】企画政策課(☎621-5085 FAX624-0164)

◆徳島市障害福祉計画(素案)

障害者総合支援法に基づき、本市における障

害福祉サービスなどの提供体制の確保策を定める計画です。

【問い合わせ先】障害福祉課(☎621-5171 FAX621-5300)

◆徳島市高齢者福祉計画および介護保険事業計画(素案)

老人福祉法および介護保険法に基づき、本市の今後3年間の高齢者に関する福祉や保健および介護保険事業に関する基本的な方向性や重点的に取り組む施策などを定める計画です。

【問い合わせ先】介護保険課(☎621-5587 FAX624-0961)

◆徳島市環境基本計画(素案)

徳島市環境基本条例に基づき、本市の環境の保全および創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための中長期的な計画です。

【問い合わせ先】環境保全課(☎621-5213 FAX621-5210)

◆徳島市国土強靱化地域計画内付け素案

令和2年3月に策定した徳島市国土強靱化地

域計画(大規模自然災害に備え、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を推進するための計画)に新規施策などを追加・肉付けするものです。

【問い合わせ先】土木政策課(☎621-5327 FAX624-5563)

◆徳島市公共下水道事業経営戦略(素案)

本市の公共下水事業を将来にわたって安定的・継続的に経営していくための中長期的な計画です。

【問い合わせ先】上下水道局経営企画課(☎623-2419 FAX623-1175)

◇◇◇◇◇

各計画素案の詳細は市HPや各担当課窓口、市役所10階情報公開総合窓口・同1階案内、各支所で閲覧できます。

【募集期間】1月15日(金)まで

【提出方法】電子申請、郵送、ファクスまたは直接、各担当課へ。郵送の場合、宛先は「〒770-8571 幸町2-5 徳島市役所各担当課」へ。

